

■養成所ニュースプラス第 43 号 2026□■

新しい年が始まりました。インフルエンザをはじめとする急性呼吸器感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用を含む咳（せき）エチケット」などが有効だと言います。国試まで 1 か月を切りました。感染症対策はもちろんですが、よく寝て、適度に運動をして、体を温めて免疫力を保持しましょう。

過去問から人物に関する問題を取り上げ、○×問題としました。人名問題は、全体では決して多くはありません。しかし、今回の「社会学と社会システム」では、人物と理論に関係する問題が多く出題されてきました。選択肢ひとつひとつの判断は、15 秒以内を目安にしたいものです。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか、合わせて考えてみてください。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【社会学と社会システム○×問題】

1. マートン (Merton,R.K.) は、近代社会では適応、目標達成、統合、潜在的パターン維持の四つの機能に対応した下位システムが分出すると主張した。【第 35 回問題 16 改変】
2. サムナー (Sumner,W.) は、自然的な本質意志に基づくゲマインシャフトから人為的な選択意志に基づくゲゼルシャフトへ移行すると主張した。【第 35 回問題 16 改変】
3. ルーマン (Luhmann,N.) は、社会の発展に伴い、軍事型社会から産業型社会へ移行すると主張した。【第 35 回問題 16】
4. ブルデュー (Bourdieu,P.) は、相互行為が相手の行為や期待に依存し合って成立していることを「ダブル・コンティンジェンシー」と呼んだ。【第 34 回問題 19】
5. ハーバーマス (Habermas,J.) は、言語を媒介とした自己と他者の間で相互理解に基づく合意形成を目指す行為を「コミュニケーション的行為」と呼んだ。【第 34 回問題 19 改変】

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・(36 期生) 住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・(37 期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第 38 回国家試験は、令和 8 年 2 月 1 日（日）です。
詳しくはこちら→<https://www.sssc.or.jp/shakai/gaiyou.html>
- ・令和 7 年 12 月 12 日に、第 38 回社会福祉士国家試験の受験票が東京都内の郵便局から投函（郵送）されました。
詳しくはこちら→<https://www.sssc.or.jp/shakai/index.html>
- ・本養成所主催、「受験対策講座」は web にて開催中です。
12 月 26 日（金）より、全ての「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」が視聴可能となりました。また、12 月 19 日（金）より国家試験直前対策講座（有料）の視聴が開始となりました。是非ご活用ください。

受験対策ページへアクセスはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=5529

※「国家試験直前対策講座（有料）」については、受講確定者に対してご案内（受講確定通知）を郵便及びメールにて送付

していますので、確認のうえご受講ください。

■Plus Info

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<http://www.aigo.or.jp/>

- ・本養成所では、皆さんの後輩にあたる第 38 期生の出願を受け付けております。

現在、2 期募集を受付中です。皆さんの周りで社会福祉士取得を目指している方、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも本養成所をご紹介しますようお願いいたします。

出願手続き等についてはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=111

資料請求についてはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=321

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

■Plus Column

【受験対策ミニ講座第 17 号／受験の手引の確認 1】

今号と次号で、「受験の手引」の内容から確認点を共有していきます。今回は受験申し込み後の注意事項です。

(1) 8 ページには、受験申込受付期間終了後に発症した病気、不慮の事故、妊娠等の対応について、「原則、軽微なものに限り対応できる場合があります」と書かれています。必要な場合は「試験日 15 日前まで」に配慮係に連絡してください。

該当する方は、不安なまま当日を迎えないように、すぐに相談しましょう。

(2) 同じく 8 ページには、疾病等のために「試験中の服薬、飲水」をしたい方や『試験中に目薬』をさしたい方については、その都度試験監督官に申し出ることで可能になると記載があります。

(3) 10 ページには、受験申し込み後に、「氏名」「現住所」を変更した場合は、直ちに、87 ページの「受験申込書記載事項変更届」を提出するよう記載があります。変更届の裏面にあるように「2 月 10 日までに」変更届が到着した分が反映されるそうです。こちらも、該当する方はすぐに提出しましょう。

次回は「試験当日の注意事項」を中心にお伝えします。

【Plus Quiz 正答と解説】

「社会学と社会システム」では間違いの選択肢も合わせると、この 5 年間で 40 人を超える人物について出題されています。中でも、マートン、パーソンズ、デュルケム、ヴェーバー、テンニース、ゴッフマン、ブルデュー、ルーマン、サザーランドは頻出です。「デュルケムは社会分業論、アノミー、自殺論」のようにキーワードで覚え込みましょう。「ゴッフマンのスティグマやドラマトゥルギー」「ヴェーバーの支配の 3 類型や官僚制」等も今一度確認してください。

1. × 選択肢は、パーソンズ (Parsons, T.) の理論です。パーソンズは、社会システムの存続に不可欠なこれら 4 つの機能を「機能的要件」と呼び、そのシステムモデルを「AGIL 図式」と呼びました。マートンは、機能は社会システムの維持に望ましいものばかりではないとして、「順機能」、「逆機能 (社会システムにマイナスに作用)」、「顕在的機能」、「潜在的機能 (社会から認知されておらず意識されていない)」の 4 形態を提唱しました。

2. × 選択肢はテンニース (Tonnies, F.) の理論です。近代化とともに人々の生活が「ゲマインシャフト」から「ゲゼルシャフト」へ移行すると批判的に捉えました。サムナーは、愛情や帰属をもつ「われわれ集団」を「内集団」と呼び、結びつきの弱い関係、対立関係にある「彼ら集団」を「外集団」と呼びました。

3. × 選択肢は、スペンサー (Spencer, H.) の理論です。協同が強制される「軍事型社会」から自発的に協同する「産業型社会」に移行すると主張しました。ルーマンは、社会構造は、家族等を単位とする「環節的分化」から主観的な階層意

識に基づく「階層的分化」、そして経済や政治等の機能が高度化し、内容が異なるシステムに分化する「機能的分化」へ移行するとしました。

4. ×「ダブル・コンティンジェンシー」について言及したひとりがパーソンズ（Parsons,T.）で、「囚人のジレンマ」が典型例に挙げられます。ブルデューは、資本を「文化資本」「社会関係資本」「象徴資本」に分類しました。「文化資本」により学歴や貧困等不平等や序列を含んだ社会秩序や社会構造が維持・再生産されるとする「文化的再生産論」を提唱しました。

5. ○ハーバーマスは、過去に提唱されてきた様々な行為理論をふまえ、「目的論的行為」「戦略的行為」「規範に規制される行為」「演劇論的行為」「コミュニケーション的行為」の5つに分類しました。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus